

この度は、BSA エクスプランターをお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。エクスプランターは歯科インプラント用の機器です。歯科用マイクロモーターで操作し、歯科用インプラントの挿入を行います。この商品を安全に正しく使用して頂くために、お使いになる前にこの取扱い説明書をよくお読みください。

1. ⚠️ 安全上の注意、危険事項の表記について

- ご使用の前に必ずこの安全上の注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 危険事項の表示は、製品を安全にお使いいただき、術者や他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。

禁 止	この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを表します。
警 告	この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者が傷害を負う可能性及び物的損害のみが発生する可能性があることを表します。
注 意	安全確保のための注意事項です。

【設置と接続について】

禁 止
<ul style="list-style-type: none"> ■ 感電を防ぐために、濡れた手で電源コードに触れないでください。 ■ 制御回路が水に濡れないようにしてください。 ■ アース付きコンセントでご使用ください。
警 告
<ul style="list-style-type: none"> ■ ご使用の際は、本体を水平な場所に設置をしてください。(床に直接置かないでください。) ■ 電磁波を発生させる機器の周辺に設置をしないでください。(誤動作のおそれがあります。) ■ マイクロモーター（ケーブルホース付）は、ケーブルホースをモーターから取り外せませんので、引っ張らないでください。

【保守・点検について】

警 告
<ul style="list-style-type: none"> ■ 本品を分解しないでください。 ■ 本体とフットペダルは滅菌しないでください。 ■ 本体パネルは、アルコール消毒剤で拭かないでください。(花王セイフキープワイドを推奨します。)
注 意
<ul style="list-style-type: none"> ■ 本体パネルを清掃するときは、電源を切ってください。 ■ 本機器を廃棄する場合は、感染性廃棄物となるため、必ず地方自治体毎に定められた条例・規則に従い、廃棄を行ってください。

【使用上について】

禁 止
<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機器は、歯科医師、医師など専門的かつ適切な訓練を受けた者以外は使用しないでください。 ■ 取扱説明書に記載されていない不適切な使用は行わないでください。 ■ 患者又は術者が心臓ペースメーカーを使用している時は、本品を使用しないでください。 ■ 爆発の危険性がある室内、可燃物質の近辺では使用しないでください。(爆発、火災、ヤケドのおそれがあります。) ■ 可燃性の麻酔(笑気ガス)を行った患者への使用や、その近辺では使用しないでください。(爆発、火災、ヤケドのおそれがあります。)
警 告
<ul style="list-style-type: none"> ■ 怪我や本品の損傷を防ぐために、ハンドピースやバー、ドリルを着脱する際は、必ずマイクロモーター（ケーブルホース付）の回転が完全に停止していることを確認してから行ってください。 ■ 本品に落下などの強い衝撃を与えないようにしてください。 ■ ハンドピースは使用後すぐに洗浄、注油、消毒をしてください。 ■ マイクロモーター（ケーブル付ホース）には注油をしないでください。 ■ 使用後は必ず電源を切ってください。
注 意
<ul style="list-style-type: none"> ■ 送水吸引チューブは弊社のもので使用してください。 ■ トルクの精度は、マイクロモーター（ケーブル付ホース）に取り付けられたハンドピースが他社メーカーの場合、正しく表示されないことがあります。 ■ ハンドピース注油後は内部に残ったオイルを完全に排出してからご使用ください。 ■ ご使用前に、本取扱説明書を必ずご参照ください。 ■ ご使用前に、患者の口腔外で回転させ、異常がないことを確認してください。異常が見られた場合は、直ちに使用を中止してください。 ■ 使用頻度が非常に高い場合は、予備部品を用意してください。 ■ 本品の作動モードは、非連続作動モードです。(3分の操作後に10分の休止)動作時間を守って使用してください。

2. 仕様

形式	Xplantor
販売名	エクスプランター
一般的名称	電動式骨手術器機
認証番号	303AKBZX00112000

■マイクロモーター

型式	SPM58L
トルク	5-80N・cm
回転速度	300-40,000rpm
定格入力	DC24V
寸法	φ21.5×110.5mm
コード長	1.8m
ライト	白色LED

■フットコントローラー

型式	MF4
コード長	2.9m

■本体

定格電圧	AC100V ± 10% 50/60 Hz
電源入力	40VA
サイズ/重さ	276 (L) × 267 (W) × 110 (H) mm / 3.5kg
注水ポンプ出力	40 ~ 110mL/min

■ハンドピース

型式	WP-1L
速度比	20 : 1
寸法	φ19.9×96.5mm
回転速度	15-2,000rpm

■エクスプランターチューブ

販売名	エクスプランターチューブ
一般的名称	送水吸引チューブ
届出番号	23B2X00017000299
長さ	3m

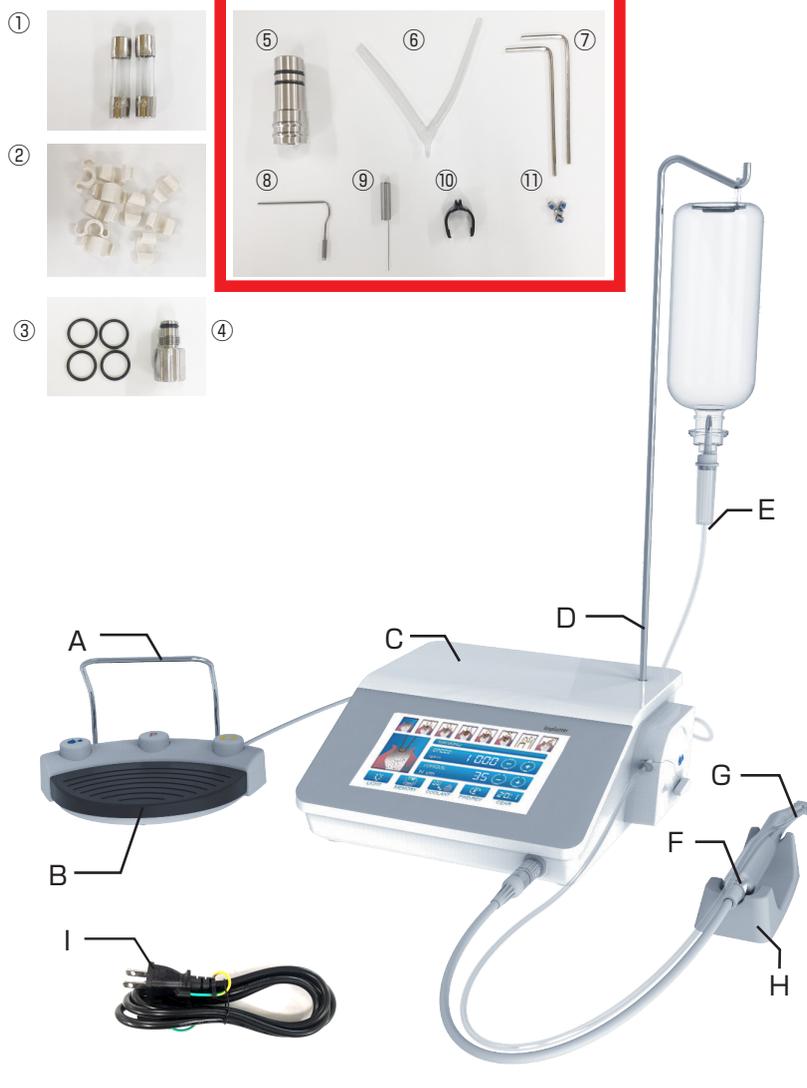
	温度	湿度	気圧
作業環境	5 ~ 40℃	30 ~ 75%	700 ~ 1060hPa
保管環境	-20 ~ 55℃	10 ~ 90%	700 ~ 1060hPa

3. 各部名称とはたらき

※開封後、すべての部品がそろっているかをご確認ください。

A: フットコントローラーハンドル	1
B: フットコントローラー (MF4)	1
C: 本体	1
付属品		
① 本体ヒューズ	2
D: ボトル支柱	1
※生理食塩水は付属しません		
E: エクスプランターチューブ	4
付属品		
② チューブホルダー	10
F: マイクロモーター [SPM58L]	1
※ケーブルホース付き		
付属品		
③ Oリング	4
④ 滅菌キャップ	2
※1つは工場出荷時にマイクロモーター先端に付属		
G: ハンドピース [WP-1L] (20:1)	1
付属品		
⑤ HP注油用ノズルアダプター	1
⑥ 2分岐注水チューブ	1
⑦ レンチ	2
⑧ 内部注水ノズル	1
⑨ ノズル掃除針	1
⑩ パイプホルダー	1
⑪ ハンドピース [WP-1L] 用ネジ	4
(予備)		
H: モータースタンド	1
I: 電源コード	1
J: キャリングケース鍵	2

※ハンドピース付属パーツ説明は P6 へ



4. セッティング

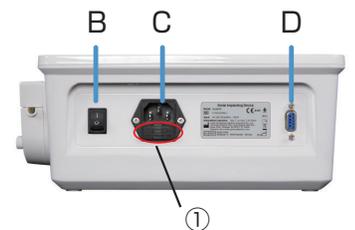
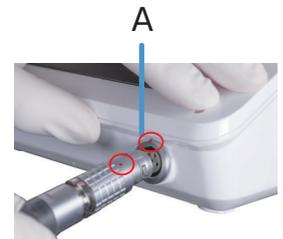


セッティングは
コチラから動画
でご確認いた
だけます

1. 本体を水平な安定した場所に設置してください。
2. フットコントローラーハンドルの底面にあるネジを外し①フットコントローラーにある取付金具②に合わせ、ネジで再び締め付け③固定します。



3. マイクロモーター用ケーブルホースコネクタを本体に赤い点が向かい合うように調整して差し込みます。(A)
4. 電源コードを本体電源ソケット (C) にしっかりと奥まで差し込みます。
①ヒューズボックスはマイナスドライバーで開けられます。
(100 - 240 VAC = ヒューズ 2XT3.15AL.AL250V)
ヒューズを交換するには P7 を参照してください。
5. フットコントローラーのケーブルプラグを背面のフットコントローラーコネクタソケット (D) に接続し、2本のネジを締め付け固定します。



注意

- ・接続の際にプラグの向きに注意してください。
- ・ケーブルの取外しには必ずソケット部を持って行ってください。ケーブルプラグが外れていない状態で強引にケーブルを抜こうとするとケーブルネジ破損の原因になります。

6. マイクロモーター先端の滅菌キャップを外し、ハンドピースを接続します。奥まで水平に差し込んだ後、左右どちらかに「カチッ」と音がしてロックされるまでハンドピースを回します。



7. ボトル支柱を本体にある溝 (E) に差し込みます。
※生理食塩水ボトルは付属しません。



注意

ボトル支柱の向きに注意してください。

8. エクスプランターチューブを袋から取り出し、本体に設置します。
(F) ツマミを反時計回りに回転させ差入口を開口します。
(G) チューブを本体の溝に合わせて差し込みます。
(H) チューブの中間にあるコネクタ部が両端に来ていることを確認します。
(I) ツマミを時計回りに回転させ閉じます。



注意

エクスプランターチューブのパッケージに破損等が無いか全体を確認します。また、使用期限も確認してください。

警告

エクスプランターチューブは滅菌済みで使い捨てタイプです。一度治療に使用したら破棄してください。

9. エクスプランターチューブをハンドピースのスプレーチューブノズルに接続します。(J)
10. エクスプランターチューブの先端に装着してある保護キャップを外し先端を生理食塩水ボトルに刺します。
11. チューブホルダーを使用してマイクロモーターのケーブルとエクスプランターチューブを固定します。(K)

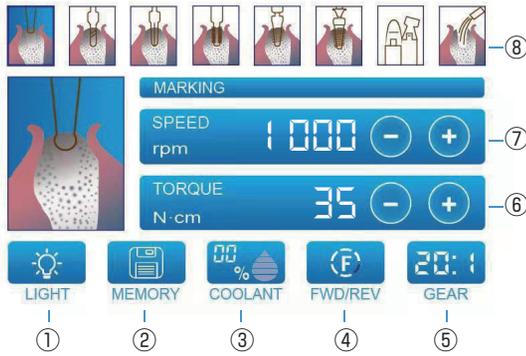


注意

装置は生理食塩水ボトルが空であることを自動認識しません。作動させる前には必ず生理食塩水の残量を確認してください。

5. アイコンとはたらき

【本体画面のアイコンとはたらき】



①ハンドピースライト

ハンドピースライトの ON/OFF 切替が出来ます。

②設定保存

各プロセスで設定した回転数・トルク・ギア比・注水量・ライト ON/OFF を記憶し、次回からプログラムとして表示します。選択した各パラメーターの値を記憶させたい時は、メモリーボタンを押します。保存されると「ビッ」と音がなります。

※工場出荷時の設定に戻す場合は、起動時にフットペダルを踏むと、「Whether to restore the factory setting」というメッセージとともに、YES / NO が選択できるようになるので、YES を選択します。

③注水量調整

0・20・40・60・80・100%の範囲で水量を調整できます。ボタンを押し続けることで 0→100→0 に戻ります。

④正 / 逆回転切替

正回転 / 逆回転の切替ができます。逆回転時選択時には「ビッ」音がなります。

⑤マイクロモーターギア比調整

使用するハンドピースのギア比の設定ができます。ご使用になるハンドピースにあわせてギア比を選択してください。セット付属品の WP-1L のギア比は 20:1 です。

⑥トルク調整

＋でマイクロモーターのトルクの調整を行います。長押しすることで表示がスムーズに切り替わります。

⑦回転数調整

＋でハンドピース の回転数の調整を行います。長押しすることで表示がスムーズに切り替わります。

⑧プロセスの切替

タッチすることで【Easy mode】では5つ、【Standard mode】では8つの中からプロセスの選択を行います。

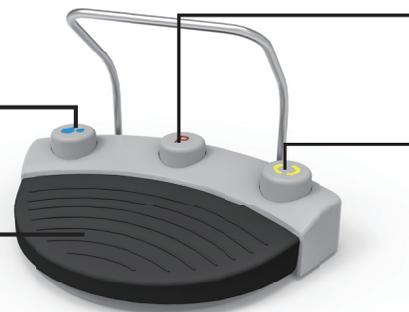
【フットコントローラーのアイコンとはたらき】

注水量調整

0・20・40・60・80・100%の範囲で水量を調整できます。ボタンを押し続けることで 0→100→0 に戻ります。

回転数調整ペダル

踏み続けることで設定した最高回転数まで回転します。



プログラムの切替

【Standard mode】では8つ
【Easy mode】では5つの中からプロセスの選択を行います。

正 / 逆回転切替

コントラアングルの正回転 / 逆回転切替ができます。

【プロセスのアイコンとはたらき及び設定プログラムの設定範囲】

工場出荷時には回転数・トルク・ギア比・注水量は以下の (D) 設定に定められています。ご使用環境に応じ変更が可能です。主電源を入れる際に、フットコントローラーの (P) プログラムの切替を踏み続けることで【Standard mode】・【Easy mode】の2つのモードから選択いただけます。次回からは選択頂いたモードで起動します。変更したい場合は起動時に再度フットコントローラーの (P) を踏み続けてください。工場出荷時は電源を立ち上げると【Standard mode】で立ち上がります。



各プログラムのデモはコチラから動画でご確認いただけます

【Standard mode】

アイコン	はたらき	回転数 / rpm	トルク / N-cm	ハンドピースギア比	注水量 / %
	①位置決め 位置決めドリルを使用し、骨面に挿入する位置をマーキングします。	45-2500	5-80	1 6:1/20:1/27:1	60
		1000 (D)	35 (D)	20:1 (D)	(D)
	②穴あけ インプラントの挿入深さまで穴を開け、方向と深さを決定します。	45-2500	5-80	1 6:1/20:1/27:1	60
		800 (D)	35 (D)	20:1 (D)	(D)
	③穴の拡張 インプラントの挿入深さまで穴を拡大します。	45-2500	5-80	1 6:1/20:1/27:1	60
		600 (D)	35 (D)	20:1 (D)	(D)
	④ネジ山形成 インプラントに適合するスレッドを作ります。	10-100	5-80	1 6:1/20:1/27:1	60
		20 (D)	35 (D)	20:1 (D)	(D)
	⑤インプラント埋入 インプラントを埋入します。	10-100	5-80	1 6:1/20:1/27:1	0
		20 (D)	35 (D)	20:1 (D)	(D)
	⑥カバースクリュー挿入 カバースクリューをインプラントに装着します。	10-100	5-15	1 6:1/20:1/27:1	0
		20 (D)	10 (D)	20:1 (D)	(D)
	⑦ユーザー設定モード ハンドピース・コントラアングルの回転数・トルク・ギア比・注水量を変更します。	10-200000		1:1/1:2/1:2.7/1:3/1:4.2 1:5/16:1/20:1/27:1	60
		1200 (D)	MAX	20:1 (D)	(D)
	⑧洗淨 流水洗淨します。	—	—	—	80

[Easy mode]

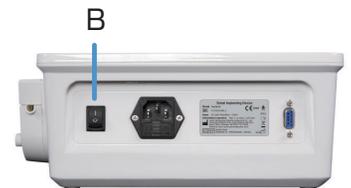
アイコン	はたらき	回転数 / rpm	トルク / N·cm	ハンドピースギア比	注水量 / %
	⑦ユーザー設定モード ハンドピース・コントラ アングルの回転数・トルク・ ギア比・注水量を変更します。	10-200000	—————	1:1/1.2/1.2.7/1.3/1.4.2 1:5/16:1/20:1/27:1	60 (D)
		1200 (D)	MAX	20:1 (D)	
	①位置決め 位置決めドリルを使用し、骨面に 挿入する位置をマーキングします。	45-2500	5-80	1 6:1/20:1/27:1	60 (D)
		1000 (D)	35 (D)	20:1 (D)	
	②穴あけ インプラントの挿入深さまで穴を 開け、方向と深さを決定します。	45-2500	5-80	1 6:1/20:1/27:1	60 (D)
		800 (D)	35 (D)	20:1 (D)	
	⑤インプラント埋入 インプラントを埋入します。	10-100	5-80	1 6:1/20:1/27:1	0 (D)
		20 (D)	35 (D)	20:1 (D)	
	⑧洗浄 流水洗浄します。	—————	—————	—————	80 (D)

6. 操作方法

■マイクロモーター（ケーブルホース付）・ハンドピース・モータースタンド・チューブホルダーが滅菌済みであることを確認してください。（初めてご使用の場合は、133℃・2～2.3気圧・4分以上オートクレーブ滅菌をしてください。）

- フットコントロール、マイクロモーター、ハンドピースおよびエクスプランターチューブが正しく接続されていることを確認して、本体背面主電源（B）を入れます。

 注 意	電源を入れた後、配線に不備があるとエラーメッセージが出ます。エラーメッセージが出た場合は、電源及びフットコントローラーを接続し直してください。	 Error 01 The foot is not connected! Please check whether the foot is in good contact.
----------------	---	--



- ハンドピースに治療に適したバーを取り付けます。
- プロセスの中から選択し、回転数・トルク・ギア比・注水量を任意の設定に合わせます。
- フットペダルを踏み込み治療を行ってください。

 警 告	■使用後は必ず電源を切ってください。
 注 意	■ご使用前に、患者の口腔外で回転させ、異常がないことを確認してください。異常が見られた場合は、直ちに使用を中止してください。 ■注水機能をご利用の際は、ご使用前に 10 秒ほど空回しをしてチューブ中に生理食塩水を満たしてください。

7. 洗浄・消毒及び滅菌

- 本体やフットコントローラーに血液や塩分が付着した場合は、電源プラグを抜き、水をよく絞った湿らせた布又は「花王セイフキーブワイド」で拭き取ってください。プラスチック部にはアルコールを含むものはご使用にならないでください。
- ハンドピースとモーター（ケーブルホース付）はオートクレーブ滅菌が可能です。（133℃ 2～2.3気圧で4分以上）
- マイクロモーター（ケーブルホース付）の洗浄・消毒及び滅菌前には**滅菌キャップを必ず取り付けてください。**
- 初めて使用する際は、ハンドピースとモーター（ケーブルホース付）をオートクレーブ滅菌してください。（推奨：133℃ 2～2.3気圧で4分以上）
- 本体とフットコントローラーは洗浄機・オートクレーブ・超音波洗浄器を使用しないでください。
- 本体や構成部品に消毒剤を使用する際は、直接スプレーをしないでください。
- 表面消毒剤は、塩素・アルコールを含まず、アルデヒドフリーのものをご使用ください。弊社取扱いの「花王セイフキーブワイド」をお勧めいたします。
- 本体とフットコントローラーは定期的に清掃・消毒をしてください。本体とフットコントローラーを清掃・消毒をする際は、電源コードが接続されていないことを確認してください。
- 滅菌できるのは次の部品のみです。
ハンドピース、マイクロモーター（ケーブルホース付）、モータースタンド、滅菌キャップ、Oリング、チューブホルダー、2分岐注水チューブ及びHP注油用ノズルアダプター

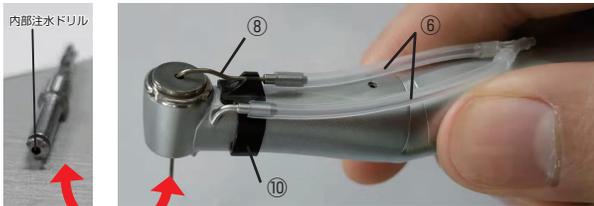
 注 意	■モーター（ケーブルホース付）の洗浄・消毒及び滅菌前に、滅菌キャップを取り付けずに滅菌すると故障の原因になります。 ■滅菌キャップのOリングが切れり外れたりした場合は新しいOリングと交換してください。
----------------	---

	洗浄・消毒及び滅菌	備考
本体	弊社取扱いの「花王セイフキープワイド」で拭く。又は、水をよく絞った湿らせた布で拭いてください。ガラス面以外の筐体はアルコールを含んだウエットティッシュ等の使用禁止。	※オートクレーブ・超音波洗浄器・器具自動洗浄機は使用不可。
フットコントローラー	弊社取扱いの「花王セイフキープワイド」で拭く。又は、水をよく絞った湿らせた布で拭き、消毒用アルコールを含ませた布で拭く。	
エクスプランターチューブ	再使用不可	
ボトル支柱	弊社取扱いの「花王セイフキープワイド」で拭く。又は、水をよく絞った湿らせた布で拭いた後、消毒用アルコールを含ませた布で拭く。	
マイクロモーター (ケーブルホース付き) [SPM58L]	水をよく絞った湿らせた布で拭き、消毒用アルコールを含ませた布で拭いた後、オートクレーブ滅菌:133℃(2~2.3気圧)4分以上。	※事前に必ず滅菌キャップを取り付けてください。 133℃を超える乾燥工程は行わないでください。
ハンドピース 【WP-1L】	ハンドピースのヘッド部を水中に入れ 15 秒ほど作動させ、付着した血液や生理食塩水をブラシで洗浄し、ハンドピース表面の汚れを流水で洗い流してください。その後、水分を柔らかい布等で拭き取りオートクレーブ滅菌:133℃(2~2.3気圧)4分以上。	※流水で洗い流す際に、後部より内部に水が浸入しないように注意してください。
電源コード	弊社取扱いの「花王セイフキープワイド」で拭く。又は、水をよく絞った湿らせた布で拭き、消毒用アルコールを含ませた布で拭く。	※オートクレーブ・超音波洗浄器・器具自動洗浄機は使用不可。
モータースタンド チューブホルダー	水をよく絞った湿らせた布で拭き、消毒用アルコールを含ませた布で拭いた後、オートクレーブ滅菌:133℃(2~2.3気圧)4分以上。	

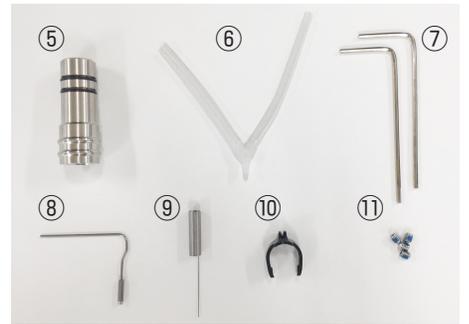
【ハンドピースに付属されているパーツの使用法】

■ハンドピースに付属されているパーツは全7種類です。使用法は以下の通りです。

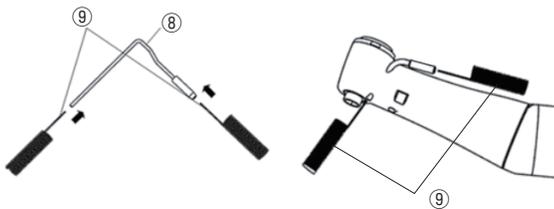
- ⑥ 2分岐注水チューブ
- ⑧ 内部注水ノズル
- ⑩ パイプホルダー



内部注水が出る冷却タイプのドリルを使用する際に図のようにして接続し使用します。



⑨ ノズル清掃針



内部注水ノズル・ドリルの注水口・ハンドピースの注水口に結晶化した食塩・血液などの詰まりがある場合は、ノズル清掃針で図のようにして洗浄します。

⑤ HP 注油用ノズルアダプター



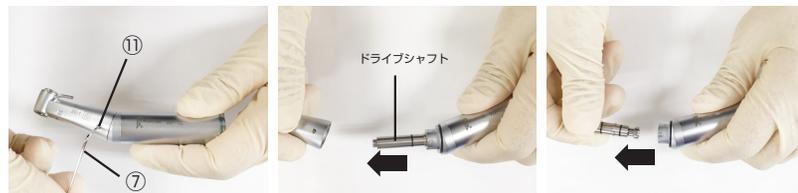
ハンドピースの清掃に使用します。お手持ちの洗浄潤滑油のスプレー口に取付け清掃します。
洗浄潤滑油は弊社取扱いの「ウルトラケアスプレー」をお勧めします。
ご使用後は必ず行ってください。



ハンドピースのメンテナンスはコチラから動画でご確認いただけます

⑦ レンチ ⑪ ハンドピース【WP-1L】用ネジ

ハンドピースは付属のレンチを使用することで図のよう シャンク・ヘッド・ドライブシャフトの3つのパーツに分解し清掃することが出来ます。



1. 付属パーツのレンチでハンドピース側面にあるハンドピース用ネジ×2を外します。
2. シャンクとヘッドを持ち水平に引き抜くと、ドライブシャフトが出てくるのでドライブシャフトとシャンクを持ち水平に引き抜くことで、3つのパーツに分解できます。それぞれに十分な量のオイルをスプレーし、汚れをきれいな布で拭き取ってください。

⚠ 注意

- ハンドピース用ネジの取付の際は、ネジの向きに注意してください。
- ハンドピース用ネジの締め過ぎにご注意ください。ネジ山が破損します。

【ハンドピースのお手入れ方法】

1. 流水下でブラシを使いハンドピースの外側の汚れを落とします。
2. BSA ウルトラケアスプレー又は自動注油機等で内部の汚れをクリーニングし、注油を行います。
(必ず毎患者毎の実施をお願いします)
3. 滅菌処理とチャックのオイル残りの確認が終わったインストルメントは、滅菌後のハンドピースが温かい内に 10～20 分ほどインストルメントスタンドに立てて放置します。(内部に残った余分なオイルを外部に排出させる為)
4. お手入れが終わったインストルメントは、滅菌パックに入れ保管してください。

 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ■BSA「ウルトラケアスプレー」をご使用後はハンドピースは寝かさず、机の上に垂直に立てて 20 分ほど放置してください。ハンドピースに残ったオイルがモーターに入ると故障の原因となります。 ■ハンドピースの清掃はヘッド・シャック・ドライブシャフトの 3 つのパーツに分解し清掃することを推奨します。 ■ウォーターホールは、生理食塩水で詰まりやすくなります。専用の注水口洗浄針で清掃してください。 ■チャック部のオイル抜きの際、チャックを押しながら、フットコントローラーを踏み、ハンドピースの空回しはしないでください。チャックが開いた状態で回転が始まると、チャック保持力の寿命が極端に短くなります。
--	---

8. 異常を感じたら

操作に問題がある場合、ディスプレイにエラーコードが表示されます。

エラーコード	内 容	解決策
01	フットコントローラーの接続不良	フットコントローラーがしっかりと本体に接続されていることを確認してください。エラーコードが消えない場合は販売代理店又は弊社まで修理依頼をしてください。
02	電流・電圧が不安定です。	本体と電源コード・コンセントがしっかりと接続されていることを確認してください。エラーコードが消えない場合は販売代理店又は弊社まで修理依頼をしてください。
03	マイクロモーターの接続不良	マイクロモーターが本体と接続されていません。マイクロモーターのコネクターが本体にしっかりと接続されているか確認してください。エラーコードが消えない場合は販売代理店又は弊社まで修理依頼をしてください。
04	ハンドピースが接続されていません	ハンドピースしっかりとが接続されていることを確認してください。エラーコードが消えない場合は販売代理店又は弊社まで修理依頼をしてください。
05	モーターエラー	販売代理店又は弊社まで修理依頼をしてください。
06	回路異常	販売代理店又は弊社まで修理依頼をしてください。
07	操作エラー	販売代理店又は弊社まで修理依頼をしてください。

その他の異常

電源および電源コードに異常が認められないにも関わらず、電源スイッチを ON にした時、液晶表示部に何も表示されない場合は、ヒューズを点検してください。



1. 本体の電源を切り電源プラグを抜きます。
2. 背面にある本体電源ソケット下にあるヒューズBOXをドライバーなどを差し込み、開きます。
3. ヒューズが2本入っているのので切れているヒューズを新しいものと交換してください。
4. 交換したらヒューズBOXを元に戻します。

9. 保守・点検

1. 振動から遠ざけ、涼しく乾燥した換気の良い場所に設置・保管してください。
2. 有毒、可燃性、腐食性、又は爆発性のものと一緒に保管をしないでください。
3. 本品は、気温 -20℃～55℃、気圧 70～106 kPa、相対湿度 10～90%で保管してください。
4. 本品を使用しないときは、電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてください。
5. 長期間使用しない場合は、月に 1 度電源を入れ、水を 5 分間流してください。
6. ケーブルが破損している場合は使用せずに、純正品と交換してください。

10. 電磁両立性に関する情報

指針及び製造業者の宣言－電磁エミッション		
本機器は、下記の電磁状況での使用を意図しています。顧客又は本機器の使用者は、本機器が下記の環境で使用されることを保証することが望ましいです。		
GB4824 RF エミッション	グループ1	本機器は、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用します。そのため、RFエミッションは、非常に低く、近くの電子機器に干渉する可能性はほとんどありません。
GB4824 RF エミッション	クラスB	本機器は、家庭施設及び家庭目的に使用される建物の電力に供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された施設を含むすべての施設での使用に適しています。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ			
本機器は、下記の電磁状況での使用を意図しています。顧客又は本機器の使用者は、本機器が下記の環境で使用されることを保証することが望ましいです。			
	GB9706 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
GB/T17626.2 静電気放電	±6 kV接触 ±8 kV気中	±6 kV接触 ±8 kV気中	床材はコンクリート又は陶製タイルであることが望ましいです。床材が合成物質で覆われている場合は、相対湿度は少なくとも30%であることが望ましいです。
GB/T17626.4 電気的高速過渡バースト	±2 kV電源線用 ±1 kV入出力線用	±2 kV電源線用 ±1 kV入出力線用	電源電力品質は、典型的な商用又は病院環境のものであることが望ましいです。
GB/T17626.5 サージ	±1 kV線対線 ±6 kV線対アース接地	±1 kV線対線 ±6 kV線対アース接地	電源電力品質は、典型的な商用又は病院環境のものであることが望ましいです。
GB/T17626.11 電圧ディップ、瞬停及び電源入力線で電圧変動	<5%UT (95%ディップUT) 0.5サイクル用 40%UT (60%ディップUT) 5サイクル用 70%UT (30%ディップUT) 25サイクル用 <5%UT (>95%ディップUT) 5サイクル用	<5%UT (95%ディップUT) 0.5サイクル用 40%UT (60%ディップUT) 5サイクル用 70%UT (30%ディップUT) 25サイクル用 <5%UT (>95%ディップUT) 5サイクル用	電源電力品質は、典型的な商用又は病院環境のものであることが望ましいです。本機器の使用者が、停電の時の連続操作を供給した場合、本機器の電源は、無停電電源装置又は電池にすることが推奨されます。
GB/T1726.8 (50/60Hz) 電力周波数	3A/m	3A/m	電力周波数は、典型的な商用又は病院環境内の典型的な場所でのレベルにあることが望ましいです。
備考：UTは、試験レベルを適用する前の交流電源電圧です。			

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ

本機器は、下記の電磁状況での使用を意図しています。顧客又は本機器の使用者は、本機器が下記の環境で使用されることを保証することが望ましいです。

	GB9706試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
伝導RF GB/T17626.6	3Vrms 150kHz～80MHz	3Vrms	携帯型及び移動型のRF通信機器は、ケーブルを含む本製品のどんな部分に対しても、送信機の周波数に適用される式から計算された推奨分離距離より離れた場所で使用することが望ましいです。 推奨分離距離 $d=1.2\sqrt{P}$ $d=1.2\sqrt{P}$ 80MHz～800MHz $d=2.3\sqrt{P}$ 800MHz～2.5GHz ここで \sqrt{P} は、送信機の最大出力定格で、単位はワット (W) で、送信機製造業者が指定したもの、dは推奨分離距離で、単位はメートル (M) です。 固定のRF送信機からの電磁界強度は、電磁気の現地調査によって決定しますが (a) これは各周波数範囲において適合性レベル未満であることが望ましいです。 (b) 干渉が次の記号でマークされた機器の近くで生じるかもしれません。
放射RF GB/T17626.3	3Vrms 80MHz～2.5GHz	3Vrms	



備考1：80MHz及び800MHzにおいては、より高い周波数範囲を適用します。

備考2：これらの指針は、全ての状況に適用するとは限りません。電磁気の伝搬は、構造、物体及び人々からの呼吸及び反射によって影響されます。

(a) 固定送信機、例えば無線（携帯／コードレス）電話基地局及び陸上移動無線、アマチュア無線、AM及びFMラジオ放送並びにTV放送からの電磁界強度は理論上、正確には予測できません。固定のRF送信機に起因する電磁環境を評価するために、電磁気の現地調査が考慮されることが望ましいです。本機器が使用される場所の正確な電磁強度が、適合されるRF適合性レベル（上記）を超過する場合、本機器は正常な通常動作を検証するために観察することが望ましいです。異常な性能が観察される場合は、追加の手段、例えば本機器の向きや場所を変えることが必要になるかもしれません。

(b) 周波数範囲150kHz～80MHzで、電磁界強度は3V/m以下であることが望ましいです。

携帯型及び移動型のRF通信機器と本機器との間の推奨分離距離

本機器は、放射RF妨害が制御される電磁環境内での使用が意図されています。顧客又は本機器の使用者は、携帯型及び移動型のRF通信機器（送信機）と本機器との間の最小距離を維持することによって電磁干渉の防止を助けます。最小距離は、下記に推奨されるように、通信機器の最大出力に従っています。

通信機の定格最大出力 (w)	送信機の周波数による分離距離 (m)		
	150kHz～80MHz $d=1.2\sqrt{P}$	80MHz～800MHz $d=1.2\sqrt{P}$	800MHz～2.5GHz $d=2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記に列記されていない送信機の定格最大出力については、メートル (m) 単位の推奨分離距離dは、送信機の周波数に適用される式を試用して決定できる。ここでPは、単位がワット (W) の送信機の定格最大出力であり、送信機製造業者が指定するものとします。

備考1：80MHz及び800MHzにおいては、より高い周波数範囲を適用します。

備考2：これらの指針は、全ての状況に適用するとは限りません。電磁気の伝搬は、構造、物体及び人々からの呼吸及び反射によって影響されます。

適合規格	
GB4824	GB/T17626.5 (IEC6100-4-5)
GB17625.2 (IEC61000-3-3)	GB/T17626.11 (IEC6100-4-11)
GB9706 (IEC60601-1、IEC60601-1-1)	GB/T17626.8 (IEC6100-4-8)
GB/T17626.2(IEC61000-4-2)	GB/T17626.6 (IEC6100-4-6)
GB/T17626.4 (IEC6100-4-4)	GB/T17626.3 (IEC6100-4-3)

11.保証

■取扱説明書とおりの正常なご使用のもと製品の不具合が生じた場合、保証書による1年間の機器無償修理を致します。下記の原因により発生した故障・損傷については、当社は責任を負いませんので、ご注意ください。

- ・誤用、乱用及び落下等、取り扱い不注意による故障・損傷
 - ・不当な修理または改造による故障・損傷
 - ・火災、地震、水害、その他の天災地変および落雷などによる異常電圧による故障・損傷
 - ・消耗品及び付属品の取替え部品の場合
 - ・保証書の提示がない場合および保証書にお買い上げ日、お客様名、販売日の記入の無い場合、あるいは字句を書き添えられた場合
- ※消耗品は保証対象外となります。

お願い

■感染予防のため、修理依頼時は本体・付属品は取扱説明書に従って洗浄及び滅菌を行った後、お買い求めの販売業者様へ修理依頼をお願い致します。

12.その他

本品は予告なしに機器のデザイン、仕様、付属品の内容を変更することがあります。ご不明な点がありましたら弊社宛お問合せください。

製造販売：株式会社 ビーエスエーサクライ 住所：名古屋市天白区高島一丁目117番地 TEL：052-805-1181
 製造業者：GUILIN WOODPECKER MEDICAL INSTRUMENT CO.,LTD ウッドペッカー 製造国名：中国